

令和2年度富山市安全で安心なまちづくり推進協議会 議事録（会議概要）

1. 日 時 令和2年10月9日（金）
午後1時30分から午後2時30分まで
2. 場 所 富山市役所東館8階 大会議室
3. 出席者
会 長 竹嶋 一恭 （富山市自治振興連絡協議会）
副会長 山形 廣志 （富山防犯協会）
委 員 大西 貞夫 （富山市身体障害者福祉協議会）
古川 尊久 （富山市PTA連絡協議会）
新村 沙里惟 （富山大学生）
武島 浩 （富山市小学校長会）
竹脇 孝志 （富山市中学校長会）
君波 敦子 （富山県高等学校長協会）
山崎 郁子 （富山西防犯協会）
堀田 裕之 （富山中央警察署）

事務局 岡地市民生活部長、宮津市民生活部次長
生活安全交通課 森川課長、竹内主幹、平川課長代理、川原副主幹

4. 内 容 ①開 会
- ②あいさつ 岡地市民生活部長
- ③報 告 令和2年上半期の犯罪発生状況について
- ④議 事 富山市安全で安心なまちづくり推進条例に基づく
令和2年度の取り組みについて
- ⑤閉 会

5. 審議概要

事務局	令和2年上半期の犯罪発生状況について説明
事務局	富山市安全で安心なまちづくり推進条例に基づく令和2年度の取り組みについて説明。
委員	身近なところでは少ないが、都市部よりも、旧郡部の人家が密集していない場所で空き巣が発生しているようだ。障害者、高齢者、一人暮らしの方が多く、空き巣に狙われても対応の方法がないのではないかと。今までは、八尾や大沢野にも警察署があったものの、徐々に市街地の方へ警察署が移転しており、旧山間地では、さらに被害が発生することが考えられるので、その対策をできるだけ検討してほしい。
事務局	本市内においては、約170の自主防犯団体があり、「地域の安全は地域で守る」という認識のもと、自主防犯団体組織を結成している。本市としては、その団体に対して、財政的な支援や研修会等を行っており、市民一人ひとりが自らの規範意識・防犯意識を高め、かつ相互に協力しあうことで、犯罪の発生を未然に防止するよう活動していただきたいと考えている。
委員	身近な防犯対策では、富山市P連としては、この1年間、そこまで踏み込んだ議論が出来ていない。特に今年はコロナ禍となり、PTAの活動そのものが縮小している中で、見守り隊等の動きも鈍くなっている。コロナの感染と並立するような活動をする必要があるという声掛けをしているところで終わっている。個人的に思うのは、住んでいる水橋上条地区の駐在所に今までは、警察官が住んでいたが、(今は)住んでいない状況である。実際には、警察官がたまに訪問する程度になってしまった。警察官が地元と一緒に居住し、一緒に小学校の活動などに参加していた経緯があった一方で、(今も)参加はしているが、地元に住んでいないので、地域住民が少し寂しく思っているという声がある。駐在所は、心の支えになっていた。そういったところも見直してほしいと思う。
委員	身近な防犯対策について、市の防犯設備の設置支援や、通話録音装置の支援をしているということを知った。このような設備などが必要な高齢の方々にもその存在が広まるように、広報などで周知できたらいいと思う。
委員	小学生に対する声掛けや、つきまとい事案発生件数が多くなってきており、通学路における防犯カメラの設置について、ありがたく思っている。特に富山市には、数多くの防犯カメラを設置してもらっている。防犯カメラが付いていることで抑止にもなるし、何かあった場合の事実の確認にもなる。子供たちの安心・安全には大きな力を発信している。
委員	小学校と同様、中学校でも、これからの季節は、気を付ける必要があり、下校時における声掛け・つきまとい事案、中学生を対象とする露出事案など散見されている。子供たちと接する時間が長い職業なので、気を引き締

	<p>めていく必要がある。</p> <p>毎年、通学路の見直しを実施しており、防犯上、照明などの設備も鑑みながら見直しを行っているが、今後は一つの視点として防犯カメラの設置状況も含めながら、丁寧に行っていく必要がある。</p>
委員	<p>2年前の交番の事件のとき、小・中学校には富山市からすぐに連絡があったようだが、高校には連絡が全くなく、マスコミの情報で16時30分頃に初めて知った。どこの高校もそういった状況だった。すでに生徒は下校した後だった。高校生は、様々なところから通ってきているので、高校にも迅速に連絡をしてほしい。富山市と県、市教委と県教委の関係次第ではないかと思うが、迅速に連絡してほしい。大きな事件が富山県では起きていないが、今後、大きな事件が起きたことを想像すると、大変不安に思う。高校の校長先生方とは、昼でも夜でもしっかりと連絡が取れるように連絡網を見直しており、そのような連絡用のパイプが必要だと思った。</p>
委員	<p>例年、各校区の防犯組合連合会のみなさんが、近くにある金融機関で、年金支給日等にイベントを行っている。しかし、春からのコロナ禍の中で、金融機関と連携して行うことができていないと聞いている。一方で、通常の子供の見守りだとか、夜のパトロール等は、通常通りできていると聞いている。取り立てて大きな事故、犯罪等の連絡は受けていない。</p> <p>2年ほど前から、県警本部で6か月ほどの期間で防犯カメラの貸出しを行い、その後、町内が買取するか返却するか決めるという制度が始まっていると聞いている。それを町内が買取するとき、このカメラの補助金制度を受けたところが2、3あったと聞いている。町内会で新規に防犯カメラを設置した場合も、県警のレンタルで買取した場合も、ともに補助申請が可能なのか？</p>
事務局	<p>県警のレンタルカメラは、今は4か月間のレンタルとなっている。レンタル終了後に買取を希望された町内会に対しても、市から補助を出している。</p>
委員	<p>町内会が独自で、この1台あたり10万円、1団体でカメラ3台分の補助金を使って県警のレンタルよりも安く、各町内で付けることができるということか？</p>
事務局	<p>4か月間が過ぎて、引き続き継続したい場合は、県警から町内会が買取する必要がある。その際、富山市の補助制度を使うことができる。新規で設置するより安く引き取ることができる。</p>
委員	<p>すでに欲しい場所は、ほとんどカメラを付けたと聞いている。新規に設置すると価格が高いという理由で設置していなかった人も、他の町内会において、県警のレンタル制度の話聞き、防犯協会に問い合わせがあったと聞いた。</p>

事務局	先ほど、本年度これまで町内会に 24 団体、37 台の設置があり、本市の補助制度を活用して設置したと口頭で説明したが、その設置されたカメラは県警から買い取ったものである。
事務局	市の制度、県警の制度とあるが、県警の制度を使った上で市の制度を使うという場合より、市の制度だけを単独で使う場合は、町内会の負担が増えるのではないか。どちらかといえば、県警の制度を使った上で市の制度を使ったほうが町内会の負担は減る。
委員	富山市で付けた防犯カメラの抑止的な啓発、カメラ設置中という看板は全て付いているのか？
事務局	公共空間に設置した 130 台の防犯カメラについては、最低 1 枚以上の「防犯カメラ作動中」という看板を付けている。交差点などの場合では 2、3 枚付いているところもある。視覚的には、歩行者や車で通る方にもわかるように看板の位置を調整している。
委員	とても大切なことだと思っている。ホットスポットパトロールの講習を受けているが、せっかくカメラが付いていても、カメラの看板が見えないと、抑止効果がなくなってしまう。犯罪を起こそうとする犯罪者は、カメラや看板等を見て、犯行を諦めるといった効果があるということなので、その後、見えない状態にならないように整備してほしい。 防犯協会は、コロナの関係で第 1 波の間はキャンペーン等ができなかったが、8 月から年金支給日の啓発活動、10 月 11 日から始まる全国地域安全運動期間には、子ども・女性に対する防犯の啓発や、年金支給日・犯罪抑止のキャンペーンも開始する。防犯協会としての啓発の広報は、これからも実施していきたい。
委員	皆様方には防犯の環境整備を始めとして、特に防犯カメラの整備については、他の自治体よりも手厚く整備してもらっている。感謝している。防犯カメラというのは、防犯上においても効果的である。犯罪が起きた後の犯罪捜査でも重要になってきている。引き続きよろしくお願ひしたい。
議長	凶悪犯、強盗、殺人、放火、強制わいせつ・強制性交は、本年 8 月末現在で、県内では 14 件発生している。身近では、高岡市内のラーメン店で 2 回ほど続けて発生したとか、高岡のアパートで女性が殺されたとか。富山市内ではベトナム人による、ベトナム人の殺人と死体遺棄という事件が発生している。8 月に岩瀬漁港で落書きによる器物損壊で、成人と高校生と書いてあったが、そういう事件が発生している。 また、万引きについては、令和 2 年度上半期では 666 件、昨年より 85.5% も増えている。私はかつて高岡市内で勤務していたときに、コンビニがあったが、いつの間にか床屋に変わっていた。そこで聞いてみたところ、万引きが多くて店をやってられないということであった。NHK で、外国人による万引きでの検挙数が、前年度 2 倍ほどの 70 件ほどになった。ドラッグストアで大量の万引き事件が発生したとのことである。

交通事故について、10月5日時点1380件、死者は22人、負傷者1595人、10月に魚津でオートバイに轢かれて亡くなった事故があったので、死者は23人だと思う。この死者のうちの65歳以上は18人となっている。秋の交通安全運動、私も旗振りに出ていたが、このとき57人の発生、死者はなかったが、負傷者は70人。今月からは薄暮時、夕方は暗くなっているので、車と歩行者、こういう事故も多発してくるという傾向がある。

薬物、覚せい剤、大麻については、9月に県内で男女9人が覚せい剤、大麻で摘発されている。このうちの30～60歳代は男女7人。薬物事件の摘発は、18年度は9人だったが、19年は23人。一気に3倍に増えている。本年は上半期だけで8人、20代の若者が全体の70%を占めている。若者への浸透によって歯止めがかかっていない。これ以上の蔓延を防ぐために、危険性を周知徹底が必要であり、好奇心や安易に流されて手を出すケースが少なくない。県の教育委員会では小、中、高校で、薬物乱用防止の時間を設け、注意を促している。学校教育だけでなく、家庭でも、危険薬物に手を出さないということで徹底をしている。保護司をしておりますので、小学校、中学校でこういう時間を設けて、薬物の危険性について紹介している。

特殊詐欺は、本年9月現在で被害額は7618万円。昨年同期は4648万円。9月だけでも2466万円。かなり増えている。9月28日には魚津で80歳代の男性が、警察官を語る人にキャッシュカードを渡して890万円が引き出された。中央署でも50歳代の女性が、海外の宝くじサイトで当選したので、受け取るために税金を事前に振り込んでほしいと200万円相当を銀行でお金を下ろそうとしていたところ、銀行員が気付いて未遂で終わった。また、コロナの関係で、追加給付金の詐欺は県内で4人、300万円の被害が発生している。

サイバー犯罪では、インターネットでマスクを注文したところ、代金を振り込んでも商品が届かない。取引会社を装って、いつもの銀行が利用できなくなったので、別の口座に振り込んでほしいという詐欺被害が確認されている。県警では、今年上半期のサイバー犯罪の件数は、前年比44件増の750件。詐欺の空き巣商法に関する相談は401件、5割を占めている。名誉棄損や誹謗、中傷は61件、インターネットオークションを利用した犯罪も38件発生している。

自殺は、2018年は全国で約2万人。そのうち4割が60歳以上。健康や経済的な問題でうつ病になって自殺する。コロナの関係で今年は財政難と社会的保障の不足によって、自分が置き去りにされているのではないかという原因から、自殺も増えていると聞いている。希望すれば70歳まで働ける、就業機会の確保が企業に努力義務が課せられているが、なかなか拡大されていない。健康な人には歳を取っても活躍の場や、収入を得る機会があるということが必要になるのではないかと思う。日本の人口では9月

	<p>15日時点で65歳以上が3617万人で28.7%。70歳以上は291万人になっている。このうち県内では65歳以上が33万3776人で32%である。また、自殺が30代40代や、高齢者の男性に多い。2018年には160人が亡くなっている。</p> <p>火災は、9月27日現在、県内で140件。12人が亡くなっている。負傷者は28人。富山市では55件で6人が亡くなっている。</p> <p>救急車も10月4日現在で13,311件。昨年よりは少し減っているが、救急車をタクシー代わりに利用していることがある。</p> <p>用水での転落事故は、10月4日の流杉では80歳の女性が亡くなっている。用水の転落は、全国で富山県はNo.1か2という統計が出ている。</p> <p>犯罪のない安全安心はどうしたら確保できるのか、自助、共助、公助があるが、この3つ以外には近所、身近な助けが必要である。今は近所付き合い、マンションでも人の付き合いがなかなか出来ないような状況になっている。近所付き合いは防犯活動につながる。みなさんも近所付き合い、富山県の安心、安全は自分で守る、自分で作るということに徹底してほしい。</p>
事務局	<p>地域の防犯力の向上ということについては、さまざまな公的な組織等がある中で、カメラの話でもあったように、抑止力を高めようということについては、市民一人ひとりがお互いのことをよく見て、「あれっ」というような意識を醸成していくことが一番大切だと考えている。そういう意味では、今年度のコロナのもと、さまざまな事が出来ないという状況で、コロナの対応そのものが、国全体でどのような形がニュースタンドになっていくかということについても、まだ見えていないところがある。いずれにしても、こうした活動を地道に実施していくことが最も抑止力になるのではないかと考えており、皆様のお力添えをお願いしたいと考えている。</p> <p>カメラの設置について。個人情報保護といった観点から、カメラを付けることがどうなのかというような点についてもさまざまな意見があった。富山市が設置した130台の公共空間のカメラについても、個人のお宅は映り込まないという配慮もしながら、なんとか設置に漕ぎ着けた。さまざまなご意見もある中で、例えばドライブレコーダーも抑止力を発揮するというようなことも含めて、カメラの設置については、社会的な認知が得られてきたのではないかと考えている。市で行っている、防犯カメラ設置補助についても、件数が増加している状況にある。防犯カメラの設置を市で行うということについては、犯人を捕まえるということで抑止力がある。ここに防犯カメラがあるという表示の設置をするべきかするべきではないのかという議論もあった。抑止力を高めるという意味で、看板の設置は必要ということで付けている。</p> <p>高校への連絡がなかなかうまくいっていなかったという話があったが、</p>

	市が情報を得る中で、それが犯罪行為であるのか、火災、自然災害なのかなど、さまざまな形での情報は、県立学校等にどのように連絡が入る仕組みになっているのかを改めて勉強させていただきたい。
--	---